

いすみ鉄道における地域公共交通活性化・再生総合事業

事業期間
21～23年度

公共交通の利便性の向上と公共交通の利用促進の向上を目的に効果的な広報・宣伝を連携させることにより地域住民のマイルール意識の醸成や鉄道の重要喚起をすすめ、利用の促進をはかる。

【いすみ鉄道沿線活性化協議会】

いすみ鉄道、小湊鉄道、いすみ市、大多喜町、バス・タクシー事業者、有識者、商工会、観光協会、国(関東運輸局、千葉運輸支局)、県(千葉県交通計画課)



事業の概要(22年度)

①イベントに連携した鉄道の増便・二次交通の運行

鉄道の増便と無料シャトルバスの運行



②観光地アクセス改善に向けた鉄道の増便・二次交通の運行

鉄道増便と養老溪谷等へのバスの運行



⑤イベント列車運行

キハ52車両の運行に併せて各種イベント実施



⑥ボランティア活動運営支援

菜の花の播種、フラワーポットの設置



⑦鉄道利用促進イベント情報提供

イベントポスター作製



③ホテルウォッチングトレインの運行

ミステリー企画、最寄駅からホテル群生地へのバス運行



④クリスマストレインの運行

列車内装飾、主要駅のイルミネーション



⑧鉄道利用促進マップの作製

ホテルウォッチング、アジサイ等のマップ作製



⑨鉄道沿線の観光施設への誘導看板設置



⑩駅からハイキングマップの作製

いすみ鉄道沿線ガイド作製



⑪広報宣伝活動実施

PRキャンペーン等実施



22年度
導入への
プロセス

鉄道利用促進及び利用者の利便性向上の為、
駅からの二次交通を整備。

鉄道利用促進の為、イベント列車導入・整備し、
イベント開催。

鉄道利用促進の為、イベントポスター・マップ等
の作製。

マイレール意識の高揚の為、ボランティア団体
へ活動支援を実施。

22年度
事業の
効果

二次交通の運行

駅からの二次交通を整備したことにより、利便性
が向上し、鉄道利用者が増加した。

イベント列車の導入

イベント列車キハ52を導入し、各種イベントを実
施。予想をしていたより鉄道利用者の大幅な増
加があった。

ボランティア団体活動支援

秋に菜の花の種を購入し、ボランティア団体へ播
種を依頼。春には満開の菜の花となり、鉄道利用
者増とマイレール意識の高揚となった。

イベントポスター・マップ等作製

鉄道利用促進ポスター・マップを作製したことによ
り、前年度に比べ鉄道利用者の増加となった。

次年度
以降

鉄道の活性化・再生に係る事業。
公共交通利用促進に資する事業。

地域イベント・観光地アクセス改善に向けた鉄道
の増便・二次交通の運行

ホテルウォッチング・クリスマスイルミネーショント
レインの運行

ボランティア活動運営支援

鉄道利用促進を目的としたイベント情報提供、
マップの作製